

令和6年度放射線安全取扱部会年次大会（第65回放射線管理研修会）

アンケート調査のまとめ

令和6年度放射線安全取扱部会年次大会実行委員会

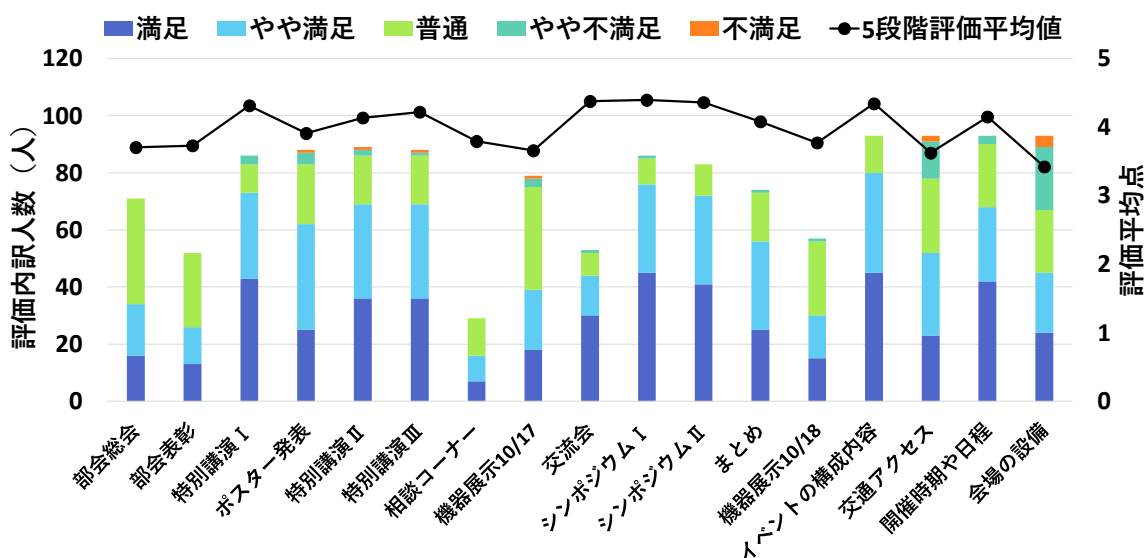
はじめに

令和6年度放射線安全取扱部会年次大会(第65回放射線管理研修会)が10月17日(木)、10月18日(金)の2日間にわたり、松本市あがたの森文化会館において開催された。年次大会実行委員会では、大会参加者の動向を把握し、今後の部会活動や大会運営の充実を図るために毎年アンケート調査を実施している。昨年度に引き続き、今回も対面開催でアンケートはWEBで行い、参加登録者数255名のうち93名から回答を得た(回答率36.5%)。その結果を以下に報告する。

1 年次大会について

今大会の各イベント・運営(構成、開催の時期、会場等)への満足度についての5段階評価(5:満足、4:やや満足、3:普通、2:やや不満足、1:不満足)及び大会への意見やコメントの記載をお願いした。図1に各イベント等に対する評価及び評価平均点を示した。

図1 年次大会各イベント・運営の評価内訳及評価平均点



アンケート回答内での評価の平均値は4.0となり、おおむね全項目で「やや満足」していただけたようであった。特に、今年は交流会が5年ぶりに開催され、会場定員の上限である150名に参加いただき、親交を深めていただけたようであった。

開催内容、運営に関する意見やコメントは、一部要約すると以下の通りであった。

- ・歴史的建造物ということで趣はあったが、パイプ椅子はやや疲れる

- ・PCを持ち込む場合もあると思うので、机やWi-Fiが整備された会場が良かったと思う
 - ・一日目を遅くに始めて、翌日が遅くまでの開催であれば後泊ができて、機器展示の景品の無料券を堪能できたと思う
 - ・内容はとても良く、特に立入検査や測定の信頼性確保など、最近特に話題になっていることについて、意見交換が盛んにできたのが一番の収穫でした
 - ・会場が駅から少し遠いのが辛かったです
 - ・重要文化財での開催は、凝りすぎ
 - ・趣のある会場での実施を企画いただき、ありがとうございました
 - ・トイレの設備が充実していると良かったです
 - ・ポスター会場がメイン会場と別棟なうえにいくつかの小部屋に分割して掲示されていたため、見通しが悪く見て回りにくかったと思いました
 - ・相談コーナーで質問を当日その場で受け付けないのであれば、年次大会中に実施する必要がないように思いました
 - ・今回交流会を対面で開催できたことはよかったですと思いました
 - ・ポスター発表や企業展示は可能な限り、大部屋一室で、共同で実施してほしい
 - ・最後の講演中に、裏の倉庫に機材を置く等（先行片付け）の音が会場まで聞こえていた。東京方面に帰る段取りもあると思うが、今回の場所（木造式の古い建物）であれば、全てのプログラムが終わってから片づけるべきだと思った
- といった会場に関するコメントや運営側への慰労のコメントも頂いた。

2 放射線安全取扱い部会の活動について

2-1 興味のあるテーマ

興味のあるテーマ（複数回答可、複数回答は加算して集計した）として選ばれた項目を図2-1に示した。最も多かった項目は「教育訓練」で例年通りであるが、次に多い「緊急時の対応」もほぼ同程度の関心の高さであった。次いで「放射線利用」「安全管理状況の点検」「設備・機器の品質管理」であった。以下、「記帳・記録」「社会貢献」「廃棄物処理」「主任者の地位」「諸外国の動向」「内部被ばく」「その他」であった。これらの項目は例年通りの選択からの回答であった。「その他」の自由記載では、「施設の完全廃止（他の部署にRI施設がない場合と、ある場合）・縮小」「放射化物の取り扱い・管理など」「RI規制法以外の国際規制物資・X線管理・電離則」「人材育成」「RI施設は今後どのようにあるべきか」「今回の特別講演Ⅱ（放射線被ばくと遺伝影響）」「業務の改善」「法令全般」との回答があった。

2-2 支部活動への要望

支部にやってほしい活動（複数回答可、複数回答は加算して集計した）を図2-2に示した。「研修会（講習会）」「見学会」が多く、次いで「教育訓練」となった。「その他」の自由記載では、「施設・管理者間の交流支援」があった。

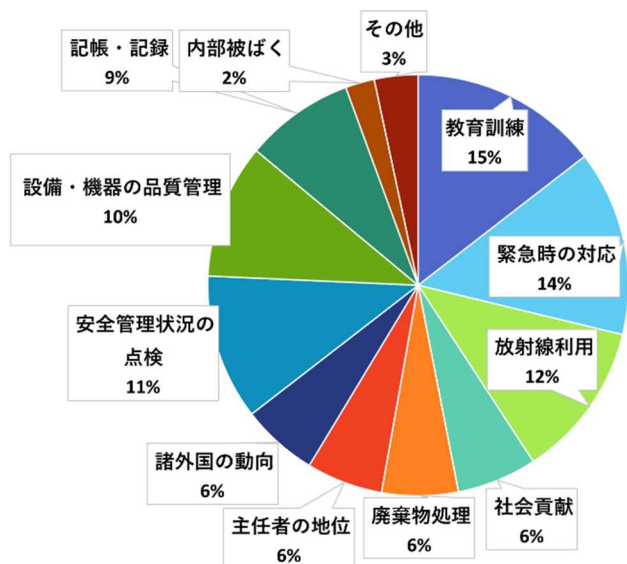


図2-1 興味のあるテーマ

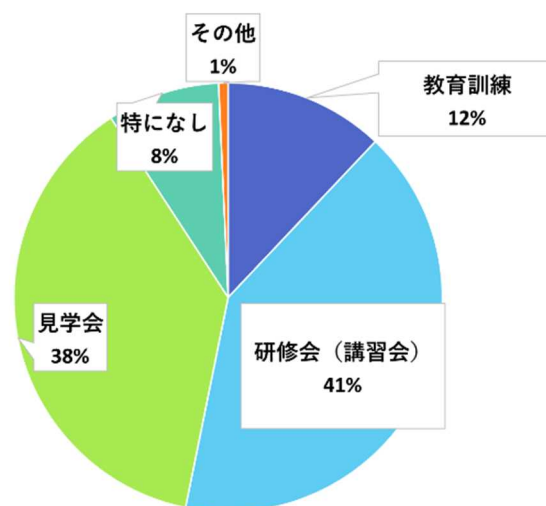


図2-2 支部にやってほしい活動

3 参加者について

3-1 年齢

年齢構成は、20歳代2%、30歳代10%、40歳代29%、50歳代32%、60歳代以上27%であった（図3-1）。

3-2 所有免状

複数回答は加算して集計した。所有免状は、第一種放射線取扱主任者が76%と大半を占め、第二種放射線取扱主任者4%、第三種放射線取扱主任者2%、薬剤師6%、技術士（原子力・放射線）1%、臨床検査技師1%であった（図3-2）。

3-3 身分

身分は、事業所長、会社役員、常勤顧問が4%、管理職22%、一般職42%、教育研究職21%、放射線技師4%、その他7%（フリーター、シニアエキスパート、非常勤職、RI測定装置取扱メーカー、医療従事者）であった。

3-4 会員の有無

日本アイソトープ協会会員は66%（内、放射線安全取扱部会員は51%、非部会員は15%）、非協会員は34%であった（図3-4）。

3-5 参加頻度

参加頻度は、毎年参加が54%、隔年参加3%、時々参加29%、初めて参加が14%であった（図3-5）。

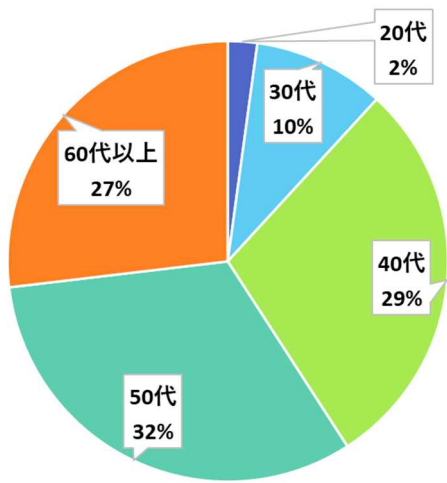


図 3 - 1 年齢構成

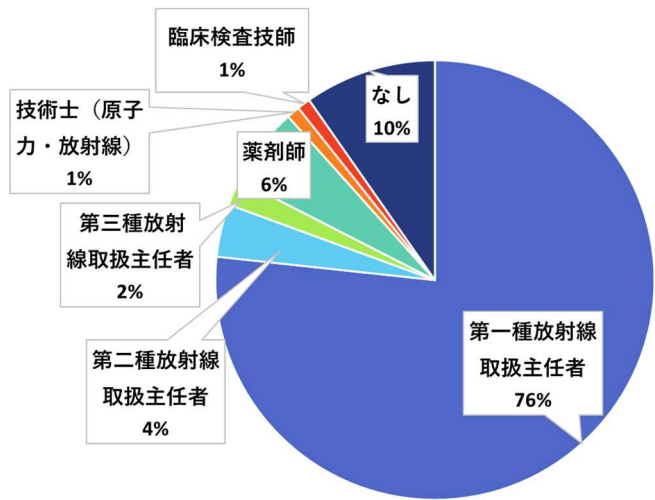


図 3 - 2 所持免許

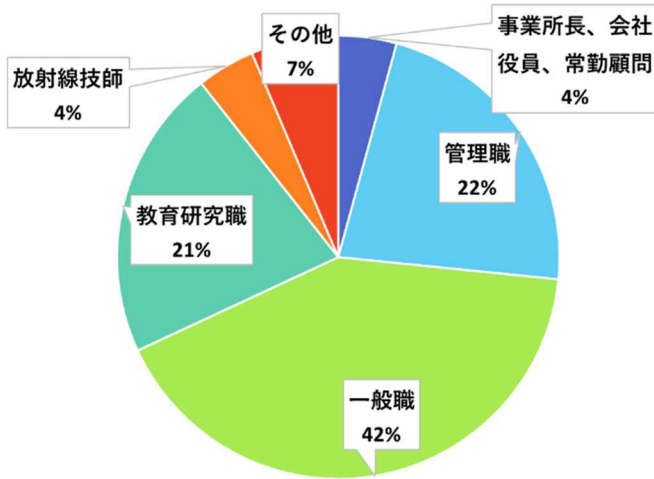


図 3 - 3 身分

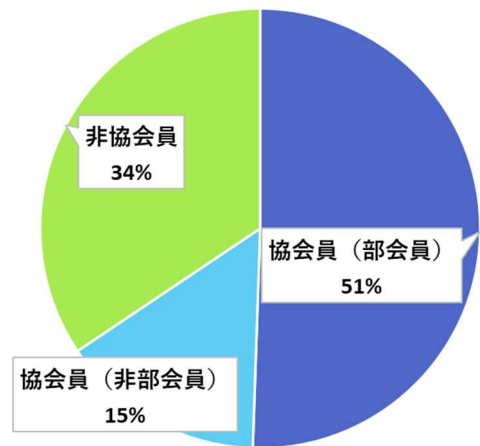


図 3 - 4 会員の有無

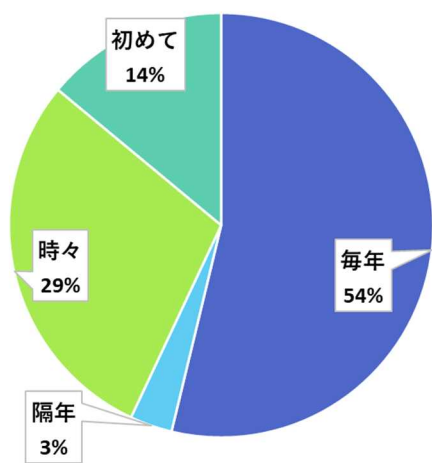


図 3 - 5 参加頻度

4 参加者の所属事業所について

4-1 事業内容

民間企業が38%、教育機関41%、研究機関12%、医療機関5%、その他4%（学術団体、日本アイソトープ協会、WBC測定結果説明、RI規制に関する法令に基づく登録基幹業務、公益社団法人、他）であった（図4-1）。

4-2 使用形態

複数回答は加算して集計した。許可使用が75%、届出使用7%、販売業3%、廃棄業4%、使用していない11%であった（図4-2）。

4-3 施設

複数回答は加算して集計した。非密封RI施設40%、密封RI施設32%、発生装置14%、設計認証機器4%、非破壊検査2%、使用していない8%であった（図4-3）。

4-4 所在地

北海道2%、東北10%、関東41%、中部13%、近畿19%、中国・四国9%、九州6%であった（図4-4）。

4-5 放射線業務従事者数

20人以下が23%、20-100人が46%、100-300人が16%、300以上が9%、未回答が6%であった（図4-5）。

4-6 選任主任者数

1人が29%、2人が31%、3人が16%、4人が8%、5人以上が7%、設置していないが6%、未回答3%であった（図4-6）。

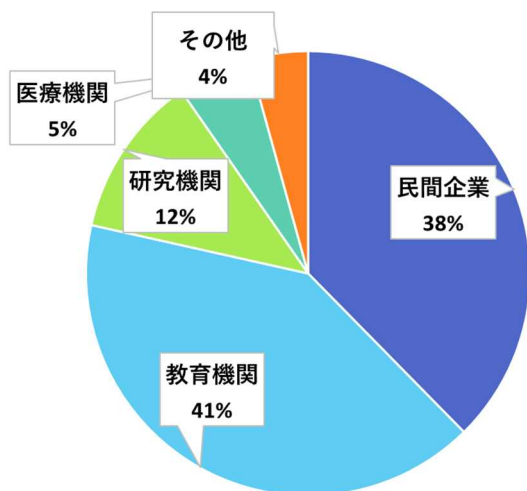


図4-1 事業内容

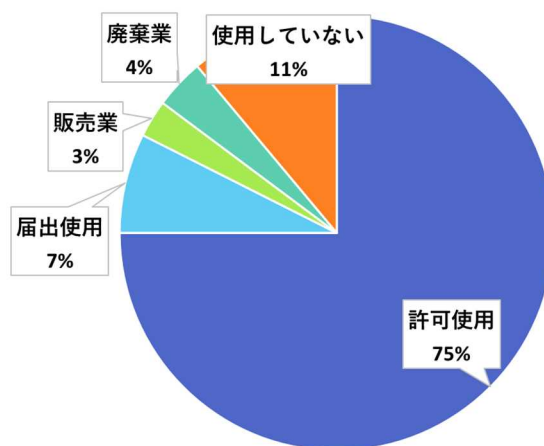


図4-2 使用形態

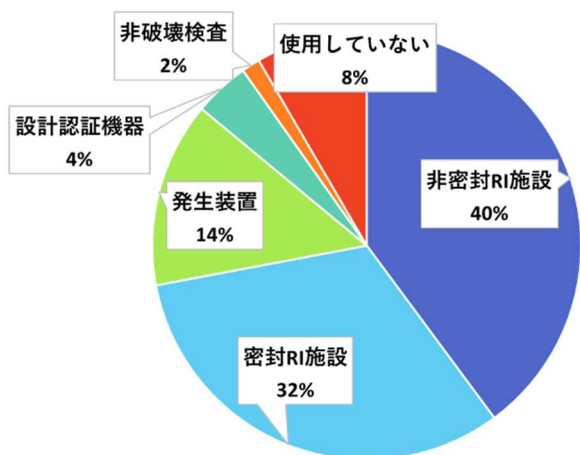


図4-3 施設

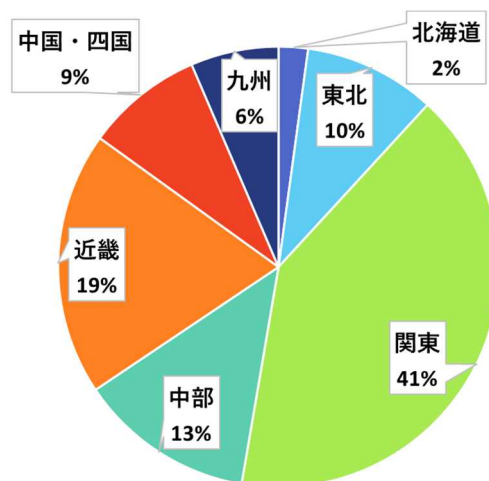


図4-4 所在地

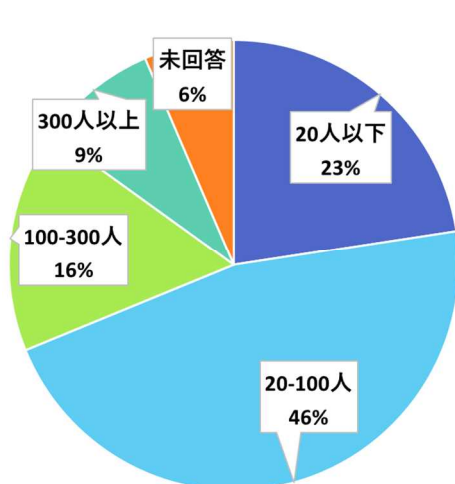


図4-5 放射線業務従事者数

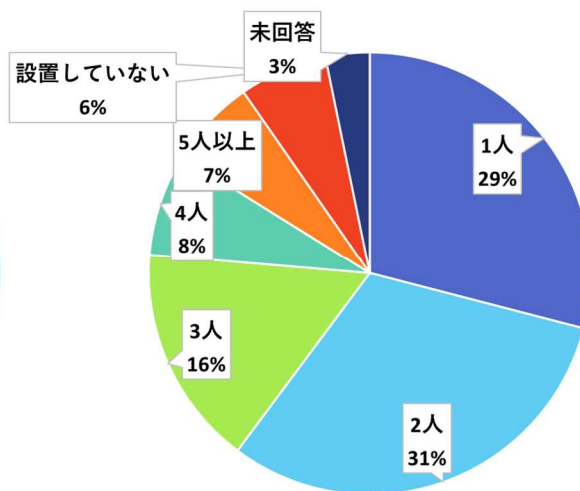


図4-6 選任主任者数

おわりに

今回の年次大会は、昨年度に引き続き現地開催で実施でき、更に交流会も復活できました。要旨集のPDF配布、アンケートのWEB回答、今回新しく導入した参加者が選ぶ「押しP（押しポスター）賞」のWEB投票といった、ポストコロナからの副産物の効率的な運営の下で実施できました。アンケート回答からは、参加者の方から重要文化財を会場としたことの不便さがあるものの、ご理解の意見もいただき、大会全体としておおむね好評な結果でした。

末筆になりましたが、大会にご参加いただいた皆様、アンケートの回答にご協力いただきました皆様に、心よりお礼申し上げます。

(松村 万寿美)